

# 「発症契機における他者の落ち度が慢性痛患者のアウトカムに与える影響について」に関する研究

## 1. 研究の対象

2014年1月～2018年3月に当院を初めて受診された方

## 2. 研究目的・方法

慢性痛の患者さんの中には、交通事故に遭われたなど、他者の関与をきっかけとして痛みが生じた方々がおられます。他人の過失がきっかけで痛みが生じた方とそうでない方で、その後の痛みや心理的状态、診療の継続状況に違いがあるのかを検討します。

本研究は、阪大疼痛医療センターが単施設のみで行う研究です。阪大疼痛医療センターの過去の診療情報（初診時・再診時に得た質問票の結果、診療録を含む）を抽出し、データの匿名化を行います。個人が特定されないように匿名化したデータについて、阪大疼痛医療センターにおいて統計解析を実施します。研究期間は2020年3月31日までとなっております。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：初診・再診時に得られた質問票、初診・再診時の診療録、初診の問診票

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部附属病院疼痛医療センター 榎本 聖香

住所：565-0871 大阪府吹田市山田丘2-15

電話番号：06-6879-5111(代表)

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座・麻酔集中治療医学教室 藤野裕士